

【日本】JPO、「特許庁デジタル戦略 202X」を公表

日本国特許庁 (JPO) は、1990 年に世界に先駆けて電子出願システムを構築するなど、40 年以上にわたって IT 面の強化に注力しています。

近年、デジタル活用面での競争は国内外で激化し、デジタルがもたらすサービス水準も飛躍的に高まっています。そして、JPO が、知財エコシステムの協創によるイノベーションの促進において、世界をリードしていくためには、クラウドや AI 等の急速な技術進展等の変化に機動的かつ柔軟に対応し、より高度でスマートなデジタル環境を実現することが必須です。

そこで、JPO は、デジタルの活用で世界の知財をリードすることを目指し、「特許庁デジタル戦略 202X」を策定しました。

主な目次 (一部抜粋)

高度でスマートなデジタル環境 : 4 つの目標

- ・いつでも どこからでも
- ・ワンストップで シンプルに
- ・スマートな 洗練された UI で
- ・知的に 創造的に

JPO モダナイゼーション : 5 つのキーコンセプト

1. コストを意識して システムをモダン化します
2. 機動力と柔軟性を持って システムを企画・開発します
3. 競争性と透明性を高め システム開発を手の内化します
4. ゼロベースで 業務・システムを見直します
5. 特許庁の組織と文化も 変革します

「特許庁デジタル戦略 202X」の全文は JPO の以下 URL から入手できます。

https://www.jpo.go.jp/system/laws/sesaku/gyomu/document/jpo_digital_202x/jpo_digital_202x.pdf